

日中交流情報センター

発行所 日中交流情報センター

〒400-0031

山梨県甲府市丸の内2-30-5 甲府電化ビル3F

E-mail:jpch-zhongxin@docomo.ne.jp.

【インタビュー】

今回は、現在町田市で民泊を始める雪野・劉ご夫妻にお話しを伺います。

Q : こんにちは。ここの家は住宅地の一角で、静かなところですね。庭にある何種類もの柑橘類が、たわわになっていて、とてもアットホームな雰囲気ですね。

妻 : 私はここの庭がとても気に入っています。もともと植えられていた夏ミカン、ミカン、柚子ブドウ、ブラックベリーのほかにレモン、イチジク、ブルーベリー、姫リンゴなどを植えました。いろいろな保存食や料理に使います。アロエ、小松菜、赤カブ、さやえんどう、クレソン、サツマイモなどの野菜も作っていますよ。

Q : 早速ですが、ここで民泊を始めようとしたきっかけを教えて下さい。

夫 : 民泊を考え始めたのは、三年くらい前からです。

こちらに来る前は、川崎市の集合住宅の三階に住んでいました。妻は年を取ったら、階段の上り下りがますます辛くなると言い、いずれは一階で生活したいと考えていました。こちらに引っ越してから、妻が根っこ堀りで膝を痛めたので、タイミングがよかつたと考えることにしています。それにインバウンドの観光客も増え続けています。そういう中で民泊の計画が具体的になってきました。

妻 : 夫は、もう少し先でも遅くないという考えでしたが、私はオリンピックに間に合うほうがいいと主張したんです。元気なうちに、どんどん始めたほうがいいと思ったのです。交通の便とか、広さ、価格等いろいろな条件がありますから、主にネットで調べて、これは、と思ったところを見に行きました。たぶん数十か所は見て回りました。

伊豆や熱海の温泉付きの家などもありましたが、交通の便、買い物などが不便とかという場所だったので購入をあきらめました。元旅館だったところもネットで見つけました。食器、布団類とか、その他いろいろ準備が省略出来て、民泊には最適だと思ったのですが、翌日連絡した時には、もう契約されていて、残念な思いをしたこともあります。

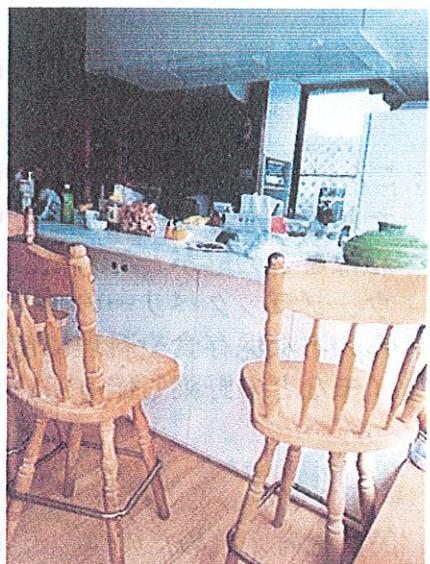
夫 : 欧米、特に英語圏には、日本よりももっと個人の旅行客が気軽に個人の家に泊まれ、朝食を提供されるB&B（ベッド&ブレックファースト）と呼ばれる宿泊施設があります。多くは住宅を利用した家族経営で、低価格で泊れます。実は、私の姉はイギリスに20年くらい住んでいたのですが、ロンドンの郊外で家を改造してB&Bをやっていました。

近くに畳を借りて、お客様にイチゴやさやえんどうなどを出していました。宣伝も特別せず、空いている部屋を日本人客に提供するというやり方でした。

私も旅行が好きで何度も海外に出かけています。パック旅行で、観光スポットを巡り、ショッピングをして、レストランで食事をするだけで帰ってくるのはもったいない。地元の人たちとの交流こそ、旅の醍醐味だと思います。もちろん言葉の壁はありますが、最低のコミュニケーションが取れれば何とかなります。現地の人の家に気軽に泊まって、飲んだり食べたりしながら交流が出来たらいいなというのは以前から考えていました。

ですから、民泊をする目的は、収入を得るというよりは、外国から来たお客様との交流を図りたいということです。私たち夫婦の友達にも来てもらいたいです。

楽しいじゃないですか。台東区あたりでは、昔のドヤ街の簡易宿泊所を作り変えて、バックパッカーなど外国人観光客に結構はやっているということで、それはそれで素晴らしいと思いますが、その種の宿泊施設とは、一味ちがうもののを目指したいです。



Q: 日本では、最近になって、インバインドとか二年後の東京オリンピックへの対応から外国人を対象とした民泊の法整備が出来たばかりだそうですね。

夫 : そうです。新民泊法（住宅宿泊事業法）と呼ばれるもので、今年1月から施行されたばかりです。それ以前は（ごく一部の特区民泊以外は）非合法で、個人や会社が、ワンルームマンションを使い、ネットで予約募集し、結構利益を得ていたという経緯があったわけです。

民泊は大きく分けると家主住居型と不在型があります。例えば、別荘を管理人を通じて貸すというのは家主不在型ですが、ここ町田市では許可されていません。

Q: 申請書類を自分ひとりで用意するのは、やはり、なかなか大変そうですね。

夫 : 消防署、保健所、他に下水道・廃棄物処理など、関係部署へ提出する書類があります。

大変といえば大変ですが、民泊は、「届け出制」ですので、条件を満たしていれば、受理されて、オーケーとされるので、認可制や許可制よりは厳しくないです。

きちんと書類を整えれば、事業所得控除も65万とれて、税制上のメリットも大きいので、今住んでいる所を使って民泊を始めるならば、比較的簡単にできていいくのではないかと思います。独立した部屋があり、鍵の管理が出来れば、民泊は普通の家ができるのです。

ただ、年間180日以内の営業とか、50m²以内のスペース(それ以上はホテル、旅館と同様の消防施設が必要)とかの制限があります。町田市では、周り10mの近所の住民に対して、案内ビラ)を配って周知してほしいということがありました。

幸いなことに、今のところ、近所からの苦情や意見はありません。

Q :確かに、騒音やゴミ出しについてはご近所のかたへの配慮が注意が必要ですね。
あと提供する食事については問題がある、家主の使う台所が一つだけでは、お客様に食事を提供できないということがあります。しかし宿泊客が自分で用意した材料を使って、料理することは可能なのです。

Q :ちょっと納得いかない感じですね。

妻 :私は料理が好きで、特に小麦粉を使った料理、例えば肉まん、マントウ、油条、などには自信があるので……。



Q :それはとても残念ですね。朝、出来立てのものを食べることができたら、お客様にとってはとてもうれしいでしょうね。一緒に作って食べればどうでしょうか。きっと喜ばれると思います。

夫 :自分で旅行のプランを立てて、長期滞在型で旅行に来た人、アクティビティを楽しみたい人、違う国的一般的な文化を知りたい、一般家庭での体験をしたいと思っている旅行客に、安い料金で利用してもらいたいと思います。今一泊3000円くらいの宿泊料を考えています。

地域の方を対象とした英語や中国語の外国语教室、料理会なども面白いと思います。

交換留学生の受け入れもしたいと思っています。また地域の人たちとの交流の場を提供する、有料のホームステイという位置づけでしょうか。

Q :ここは、最寄りの駅が横浜線の淵野辺駅と小田急線鶴川駅で、駅からはバスを利用するということですね。

夫 :住宅地で静かな所ですが、交通の便からいうと、決して便利な所ではありません。連絡いただければ、私が無料で車で送り迎えします。

妻 :ここは春に見に来て、5月に契約、その後リフォームを始めました。一度に全部で8人くらい泊まることが出来ます。もともとは庭に大きな椿の樹やアジサイが何本かあったのですが、果樹だけ残しました。根が張っていて、掘り起こすのに結構大変でした。来年はもっと野菜を作りたいです。



夫 :私は釣りが好きで、葉山、真鶴、伊豆多賀などよく行って、手漕ぎボートで海釣りをします。

ガイド(案内)をするということに規制がないと聞いていますので、ホストとして海に案内して、富士山を眺めながら一緒に釣りを楽しめれば最高です。

妻の弟が中国から来てくれた時も、一緒にカワハギ釣りに行って喜んでもらえました。

ここからは箱根、鎌倉、富士五湖、熱海などへも、乗り換えはありますが、行きやすいと思いますし、また案内もしてあげられます。

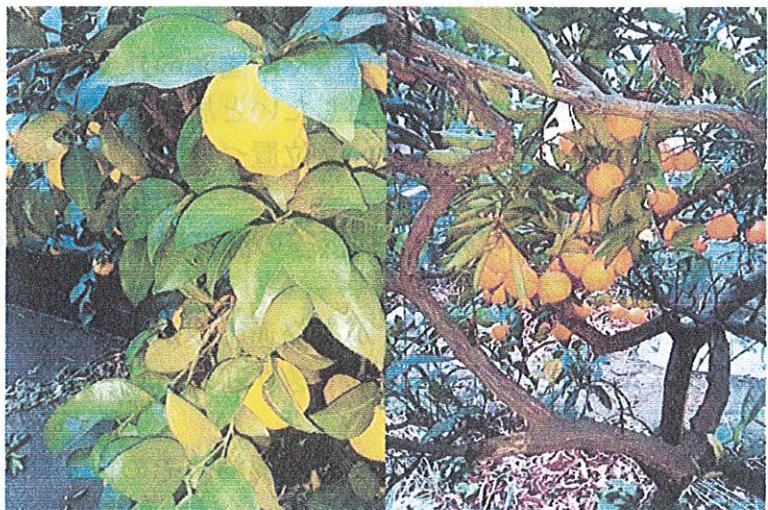
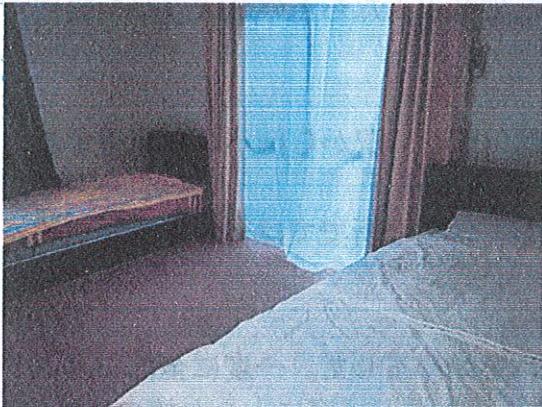
Q :宣伝はどのようにしていきたいですか。

夫 :あまり積極的には考えていませんが、自分でホームページを立ち上げてやろうと考えています。私たちも中国に行ったときには北京の妻の友人の家によく泊めてもらっています。まず、その親戚や友達関係の人たちに、泊まつてもらおうと思っています。

食事提供にしても、思わぬ規制がありましたし、素人が民泊で利益を得ようになると、なかなか難しいでしょう。それよりは、いろいろな人と知り合うことの楽しさがありますから、「民泊」はお客様をもてなすこと自体が楽しいと思える人が、出来ることだと思います。

Q :新しいことに挑戦することは、なかなか大変です。これからも、思わぬ困難もでてくるかもしれません。劉さんとは、以前山梨に住んでいた時からのお付き合いですが、エネルギーのある奥様と慎重な主人の二人三脚で、「民泊」という出会いの場から、沢山の新しい交流が生まれることを願っています。

2月12日 町田市の雪野耕作・劉小明さん宅にて
問い合わせ (042 860 2416 雪野)



《これからの予定》

- 春節交流会 2月3日 中央公民館 AM11:00 ~12:00 着物着付け体験
PM 1:00~4:00 餃子作りと交流会

《事務局日誌》

- 二胡教室 10/22/ 11/12,26, 12/10,24
- 紹介山梨 11/5,12 12/3,17
- 医療通訳研修会参加 11/3 12/15
- 生活相談その他 10/21 11/22, 12/7
- 「中国語で遊ぼう」 10/21 11/4,18 12/16,23 1/6
- 県民の日イベント出展 11月10,11日 小瀬スポーツ公園
「やまなし市民活動交流フェスタ」のブースで月餅/、マークア販売
- インタビュー 12月12日 雪野・劉明王祥慧さん(町田市の自宅にて)